

交流施設

ほんまるの家

(旧 SUMIKA パヴィリオン/栃木県宇都宮市)

概要

設計：伊東豊雄建築設計事務所

施工：株式会社 佐武建設

面積：81㎡

構造：木造平屋

用途：まちなか広場管理事務拠点、休憩所、イベント施設、ギャラリーなど

ごあいさつ

当建築物は、2008年に東京ガスからの依頼で栃木県宇都宮市に建設された建物を移築してきたものです。元々は東京の4人の建築家が、「火のある新たな建築」をきっかけとして、人々の暮らしを見直し提案する「SUMIKA プロジェクト」の中の施設として使用されていました。その役目を終えた中、移設先を探していたところ、「陸前高田のみんなの家」でも緑の深い、陸前高田市が迎え入れてくれることになったのです。2015年3月に解体された資材は、東京ガスから陸前高田市に寄贈され、約2年間保管されていました。そして2017年5月、遂に再建工事が始まったのです。

元の資材を活かしながら新しい場所をつくっていくことは時に難しく私たちの頭を悩ませましたが、たくさんの人の協力を得ながらなんとかオープニングを迎えることができました。この建物は、東京ガス、解体検討してくれた皆さん、移設先として迎えてくれた陸前高田市、再建検討・工事をしてくれた皆さん、その他大勢の方の思いがたくさん詰まった建物です。陸前高田市のみなさんが、新しい「ほんまるの家」(旧SUMIKAパヴィリオン)でくつろいだり、談笑したり、楽しむことを共有してくれる、そんな建物になってくれたらと思いを込めてつくりました。

「ほんまるの家」が陸前高田市の皆さんに愛される施設となるよう願っています。



公園の中の「ほんまるの家」



「ほんまるの家」内観

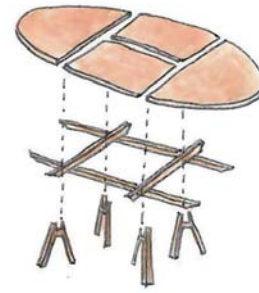
ギャラリーとして



大テーブルを片づけ、ピクチャーレールを利用して、ギャラリーとしても使えます

15人座ることのできる大テーブルでは、学校帰りに勉強をしたり、本を読んだり、キッチンでつくったものを囲んだり、会議をしたり…

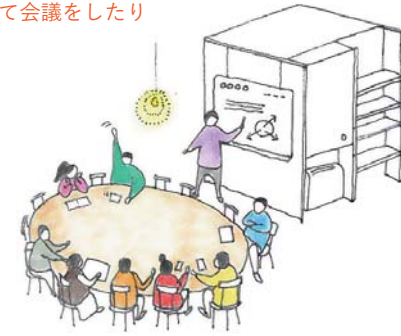
大テーブル



大テーブルは、組み立て式で必要のないときは物置にしまっておくこともできます

洗面室の壁

ホワイトボードを吊り下げて会議をしたり



パブリックビューイング みんなで日本代表を応援!



「ほんまるの家」のつかい方



木の年輪を模したベンチは、腰かけてみるとぴったりと体にフィットしてとても座りやすいですよ

リップルズのベンチ

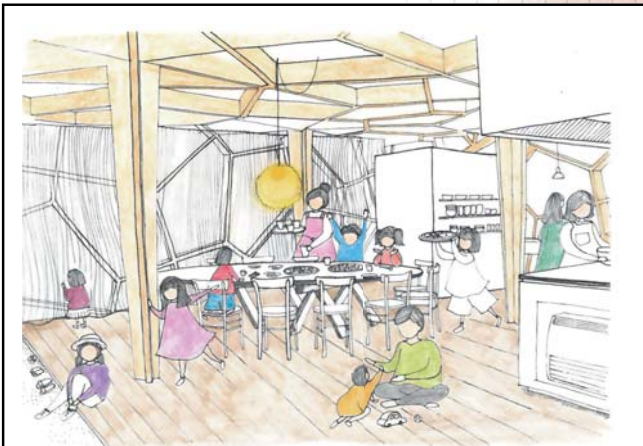
エントランス土間

広い土間スペースがあるので、アパッセでのお買い物の後や子供たちが公園で遊んでいるときなどにも、気軽に立ち寄ってください。イベント時大勢の人が一度に靴を履き替えることができます



受付

受付では、公園内やほんまるの家の貸出手続きや、困ったときに助けてくれるお姉さんが座っています



たこ焼きパーティ、ピザパーティ・・・!

大テーブル

ピクチャーレール

洗面室

誰もが使いやすい広い洗面室です

物置

カウンターキッチン

広い作業スペースとなるカウンターキッチンでは、みんなで横並びで作業ができます

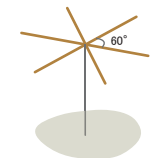
アイランドキッチン

IH クッキングヒーター 3口×2
オープンレンジ×2
冷蔵庫や食器洗浄機も常設しています。お料理教室やパーティ時のキッチンとして使用することができます



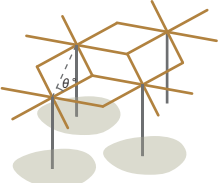
木構造の成り立ち

① 1本の木



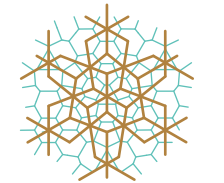
60度ずつ6方向に枝(梁)を伸ばした1本の木があります

② 木が集まる



枝が伸びて結び合わされたネットワークを形成します

③ シミュレーションによる最適な位置の決定



柱梁の最適な位置は構造のシミュレーションを繰り返し行うことによって、決定されます



木の構造体で天井から壁まで四周围われることによって、木陰の中にあるような落ち着いた公園の休憩所となります